



## 『やってみよう!おはなし会』



## おはなし会ってなんだろう?

決められた時間内でプログラムを組んで、お話を届けます。

## 内容

- ・ 絵本や大型絵本の読み聞かせ
- ・ 紙芝居、大型紙芝居
- ・ 小道具、手遊び
- ・ パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート など



これらを上手に効果的に組み合わせて、プログラムを作ります。



## プログラム作りのポイント

- ★テーマを決める
- ★テーマにあった作品を選ぶ
- ★メリハリある流れを考える
- ★初心者は小さいものから大きいものに持っていくと効果的  
ex. 絵本→大型絵本→パネルシアター



## おはなし会を行うポイント

笑顔で                      恥ずかしがらない                      元気に  
あせらない                      ゆっくりと                      大きな声で



## おはなし会を行うポイント

### 読み聞かせ心得

- ① 選書はしっかりしましょう
- ② 練習をしっかりしましょう
- ③ 聞き手のことを考えましょう
- ④ 読み手も楽しみましょう

### 選書

- ① 時間内におさまる本
- ② 自分が好きになった本、何度も読みたいと思った本
- ③ 絵がわかりやすく、はっきりしている本
- ④ 季節感も大切に
- ⑤ 聞き手のことを考えて選びましょう

### 読み手、持ち方

- ① 相手に聞こえるようにはっきりと、ゆっくりと
- ② 自然な読み方で
- ③ 本はしっかり開いて持つ(開きぐせをつけておく)
- ④ 手や顔や体で、絵や本が隠れないように



## 実際の流れ

- ① タイトルを読む
- ② 作者、絵を描いた人、訳者を読む
- ③ 見返しを見せる
- ④ 中タイトルを読む(作者等は読まない)
- ⑤ 本文を、絵をゆっくり見せながら心を込めて読む
- ⑥ 後ろ見返しを見せる
- ⑦ 裏表紙をしっかりみせる
- ⑧ 表紙の絵が裏表つながっている場合は広げてみせる



## その他

- ・ 年齢の低い子に読み聞かせる場合、言葉を足して読んでもOK
- ・ ざわついて落ち着かない場合、手遊びなどをするのもよい
- ・ 相手が誰であろうと、真剣な姿勢で向き合しましょう
- ・ 読み聞かせはただ本を届けるだけではありません。人と人が向かい合い、同じ時間をかけあいながら共有してすごすことが大切です

